

介護老人保健施設等及び障がい者(児)入所施設への調査（案）

1. 調査概要

第3次大阪府歯科口腔保健計画のベース値を提示するにあたって、定期的に歯科健診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科保健の実態を把握し、目標値設定や推進方策を検討するため、介護老人保健施設及び障がい者（児）入所施設における歯科保健の取組みについて、アンケート調査を行います。

2. 調査対象

- ① 大阪府内に所在する介護老人福祉施設および介護老人保健施設
- ② 大阪府内に所在する障がい児入所施設および障がい者入所施設

3. 調査項目

- ① 施設の入所定員・入所者の構成
（施設種別、定員、入所者数、入所者の構成、要介護度・障害支援区分、職員数）
- ② 歯科医師による歯科健診の実施状況
（実施頻度、実施していない理由）
- ③ 職員による口腔ケアの実施状況
（実施頻度、内容、実施していない理由）
- ④ 歯科保健に関する取組みの状況
（職員の研修、カンファレンス、口腔ケアプラン策定、フッ化物応用、訪問歯科診療 等）
- ⑤ その他の事項
（利用者のニーズ 等）

○ 調査方法（令和4年度の手法を想定）

（依頼）

- ・介護老人福祉施設
高齢介護室介護事業者課を通じて、各施設に対してメールで依頼。
（政令中核市所管分については市を経由して依頼）
- ・障がい者（児）入所施設
福祉の手引きに記載の施設あてに健康づくり課よりメール・郵送で依頼。
（メールアドレスはWAM NET から取得）

（回答）

- ・府ホームページ（大阪府行政オンラインシステム）を通じて回答を得る。
（Web 回答が難しい施設については、Fax での回答にも対応予定）
- ・一定期間経過後、未回答の施設に対してリマインドを行う。

○ スケジュール（予定）

令和7年5～12月 アンケート調査等（調査依頼～集計分析に4か月程度を見込む）

令和8年2～3月頃 令和7年度大阪府生涯歯科保健推進審議会

6. 令和4年度の調査結果

(1) 介護老人福祉施設・介護老人保健施設

(ア) 施設の入所定員・入所者の構成

回答のあった施設の状況については、表1から表4に記載のとおりです。

表1 施設種別	全施設 (N=350)		介護老人保健施設 (N=129)		介護老人福祉施設 (N=221)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
介護老人福祉施設	221	63.1%	0	0%	221	100%
介護老人保健施設	129	36.9%	129	100%	0	0%

表2 施設の職員数	(N=350)		(N=129)		(N=221)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
50人未満	71	20.3%	19	14.7%	52	23.5%
50人以上100人未満	187	53.4%	70	54.3%	117	52.9%
100人以上150人未満	42	12.0%	21	16.3%	21	9.5%
150人以上200人未満	5	1.4%	2	1.6%	3	1.4%
無回答	45	12.9%	17	13.2 %	28	12.7%

表3 施設の入所定員	(N=350)		(N=129)		(N=221)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
50人未満	16	4.6%	7	5.4%	9	4.1%
50人以上100人未満	193	55.1%	46	35.7%	147	66.5%
100人以上150人未満	124	35.4%	64	49.6%	60	27.1%
150人以上200人未満	15	4.3%	12	9.3%	3	1.4%
200人以上	2	0.6%	0	0%	2	0.9%

表4 入所者のうち要介護度5の割合	(N=350)		(N=129)		(N=221)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
25%未満	129	36.9%	73	56.6%	56	25.3%
25%以上50%未満	120	34.3%	15	11.6%	105	47.5%
50%以上75%未満	11	3.1%	1	0.8%	10	4.5%
75%以上	2	0.6%	0	0%	2	0.9%
無回答	88	25.1%	40	31.0%	48	21.7%

(イ) 口腔ケアの実施状況

回答のあった全ての施設で職員による口腔ケアが実施されており、そのうち毎日1回以上実施している施設が9割以上でした。主に実施されている口腔ケアは多い順に「歯ブラシによる清掃」「入れ歯の清掃」「スポンジブラシ、保湿剤等を用いた粘膜・舌等のケア」「嚥下体操等による口の機能のトレーニング」となっていました。

また、現在実施しておらず今後取り組みたいと考えている口腔ケアの内容は「嚥下体操等による口の機能のトレーニング」が最も多く、未実施の施設のうち約7割から回答がありました。

表5 口腔ケアの実施状況	全施設 (N=350)		介護老人保健施設 (N=129)		介護老人福祉施設 (N=221)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
すべての入所者に対し実施	157	44.9%	50	38.8%	107	48.4%
一部の入所者（障がいの程度や口腔の状態に配慮が必要な方等）に対し実施	193	55.1%	79	61.2%	114	51.6%
実施していない	0	0%	0	0%	0	0%

表6 口腔ケアの実施頻度	(N=350)		(N=129)		(N=221)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
毎日実施	338	96.6%	126	97.7%	212	95.9%
うち1日3回以上	219	62.6%	87	67.4%	132	59.7%
うち1日2回	100	28.6%	36	27.9%	64	29.0%
うち1日1回	19	5.4%	3	2.3%	16	7.2%
1週間に数回程度	2	0.6%	0	0.0%	2	0.9%
無回答	10	2.9%	3	2.3%	7	3.2%

表7 口腔ケアの実施内容	(N=350)		(N=129)		(N=221)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
歯ブラシによる清掃	335	95.7%	123	95.3%	212	95.9%
歯間ブラシやデンタルフロスなど補助清掃用具を使った清掃	124	35.4%	43	33.3%	81	36.7%
入れ歯の清掃	335	95.7%	123	95.3%	212	95.9%
フッ化物（フッ素）入り歯磨き剤の使用	97	27.7%	31	24.0%	66	29.9%
スポンジブラシ、保湿剤等を用いた粘膜・舌等のケア	284	81.1%	103	79.8%	181	81.9%
嚥下体操等による口の機能のトレーニング	215	61.4%	93	72.1%	122	55.2%
その他	11	3.1%	4	3.1%	7	3.2%

表8 今後取り組みたいと考えている口腔ケアの内容（現在実施している施設を除く）

	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
歯ブラシによる清掃	8	53.3%	5	83.3%	3	33.3%
歯間ブラシやデンタルフロスなど補助清掃用具を使った清掃	86	38.1%	32	37.2%	54	38.6%
入れ歯の清掃	4	26.7%	1	16.7%	3	33.3%
フッ化物（フッ素）入り歯磨き剤の使用	59	23.3%	26	26.5%	33	21.3%
スポンジブラシ、保湿剤等を用いた粘膜・舌等のケア	24	36.4%	10	38.5%	14	35.0%
嚥下体操等による口の機能のトレーニング	101	74.8%	23	63.9%	78	78.8%

（ウ）歯科医師による歯科健診の実施状況

歯科医師による定期的な歯科健診を実施している介護老人保健施設は 44.2%あり、第 2 次大阪府歯科口腔保健計画策定時（平成 28 年度：29.5%）と比較して増加していました。

一方で、歯科健診を実施していない施設もあり、その理由としては「定期的に歯科医師・歯科衛生士に診てもらっており、健診の必要がない」と回答した施設が最も多くありました。

表9 歯科医師による歯科健診の実施状況	全施設 (N=350)		介護老人保健施設 (N=129)		介護老人福祉施設 (N=221)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
定期的実施	193	55.1%	57	44.2 %	136	61.5%
うち年に 3 回以上	142	40.6%	41	31.8%	101	45.7%
うち年に 2 回	7	2.0%	1	0.8%	6	2.7%
うち年に 1 回	44	12.6%	15	11.6%	29	13.1%
不定期（数年に 1 回程度）	64	18.3%	33	25.6%	31	14.0%
実施していない	93	26.6%	39	30.2%	54	24.4%

表10 歯科医師による歯科健診を実施していない理由	(N=93)		(N=39)		(N=54)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
定期的に歯科医師・歯科衛生士に診てもらっており、健診の必要がない	63	67.7%	24	61.5%	39	72.2%
施設側の体制（時間、人員、場所等）を確保できない	3	3.2%	2	5.1%	1	1.9%
健診を依頼できる歯科医療機関がない	1	1.1%	1	2.6%	0	0%
本人や家族から希望がない	13	14.0%	5	12.8%	8	14.8%
その他（※）	12	12.9%	6	15.4%	6	11.1%
無回答	1	0.3%	1	0.8%	0	0%

※希望者は訪問歯科診療を受けている 等

（エ）歯科保健に関する取組みの実施状況

約 8 割以上の施設で「施設の「協力歯科医療機関」を定めている」または「入所者に訪問歯科診療を受けさせている」といった取組みが実施されていました。一方で、半数以上の施設で「職員が歯と口の健康に関する研修を受ける機会」が設けられておらず、さらにその内の約 8 割の施設では、今後、研修の機会を設けたいと考えていることがわかりました。

表 1 1 歯科保健に関する取組みの実施状況	全施設 (N=350)		介護老人保健施設 (N=129)		介護老人福祉施設 (N=221)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
職員が歯と口の健康に関する研修を受ける機会を設けている	157	44.9%	60	46.5%	97	43.9%
施設内のカンファレンス等において、入所者の歯と口の健康についてとりあげている	170	48.6%	60	46.5%	110	49.8%
入所者一人ひとりの口腔ケアプランを策定している	87	24.9%	37	28.7%	50	22.6%
入所者にフッ化物（フッ素）塗布やフッ化物洗口の機会を設けている	31	8.9%	9	7.0%	22	10.0%
入所者に訪問歯科診療を受けさせている	290	82.9%	103	79.8%	187	84.6%
施設の「協力歯科医療機関」を定めている	311	88.9%	121	93.8%	190	86.0%

表 1 2 今後取組みたいと考えている歯科保健の内容（現在実施している施設を除く）

	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
職員が歯と口の健康に関する研修を受ける機会を設ける	151	78.2%	55	79.7%	96	77.4%
施設内のカンファレンス等において、入所者の歯と口の健康についてとりあげる	90	50.0%	33	47.8%	57	51.4%
入所者一人ひとりの口腔ケアプランを策定する	82	31.2%	28	30.4%	54	31.6%
入所者にフッ化物（フッ素）塗布やフッ化物洗口の機会を設ける	69	21.6%	27	22.5%	42	21.1%
入所者に訪問歯科診療を受けさせる	8	13.3%	1	3.8%	7	20.6%
施設の「協力歯科医療機関」を定める	4	10.3%	0	0%	4	12.9%

（オ）入所者のニーズ

入所者の歯科保健に関するニーズについて約 9 割の施設が「十分満たしている」「ある程度満たしている」と回答しました。一方で、「やや不足している」「まったく不足している」と回答した施設から、口腔ケアに関する施設職員の知識・技術の差や、マンパワーの不足に関する意見が寄せられました。

表 1 3 歯科保健に関する取組みに係る入所者の満足度	(N=350)		(N=129)		(N=221)	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
十分満たしている	41	11.7%	17	13.2%	24	10.9%
ある程度満たしている	273	78.0%	98	76.0%	175	79.2%
やや不足している（※）	33	9.4%	12	9.3%	21	9.5%
まったく不足している（※）	3	0.9%	2	1.6%	1	0.5%
歯科保健に関するニーズはない	0	0%	0	0%	0	0%

※スタッフの口腔ケア知識・技術に差がある、拒否や認知症のある方への口腔ケアが十分でない、限られたマンパワーの中で十分な時間、回数の口腔ケアができない 等

(2) 障がい者（児）入所施設

(ア) 施設の入所定員・入所者の構成

回答のあった施設の状況については、表1から表5に記載のとおりです。

表1 施設種別

(N=90)

	施設数	割合
福祉型障がい児入所施設	10	11.1%
医療型障がい児入所施設	5	5.6%
施設入所支援	75	83.3%

表2 施設の職員数

(N=90)

	施設数	割合
50人未満	52	57.8%
50人以上100人未満	23	25.6%
100人以上150人未満	0	0%
150人以上200人未満	1	1.1%
200人以上	1	1.1%
無回答	13	14.4%

表3 施設の入所定員

(N=90)

	施設数	割合
50人未満	41	45.6%
50人以上100人未満	40	44.4%
100人以上150人未満	8	8.9%
150人以上200人未満	0	0%
200人以上	1	1.1%

表4 入所者のうち障害支援区分6の割合

(N=90)

	施設数	割合
25%未満	7	7.8%
25%以上50%未満	16	17.8%
50%以上75%未満	22	24.4%
75%以上	27	30.0%
無回答	18	20.0%

表5 入所者の構成（複数回答）

(N=90)

	施設数	割合
身体障がい	56	62.2%
知的障がい	84	93.3%
精神障がい（発達障がいを含む）	51	56.7%
難病	16	17.8%
医療的ケア児	5	5.6%

（イ）口腔ケアの実施状況

回答のあった施設うち、職員による口腔ケアを毎日1回以上実施している施設は9割以上ありました。実施内容としては「歯ブラシによる清掃」が最も多く、その他、多い順に「スポンジブラシ、保湿剤等を用いた粘膜・舌等のケア」「歯間ブラシやデンタルフロスなど補助清掃用具を使った清掃」「フッ化物（フッ素）入り歯磨き剤の使用」「嚥下体操等による口の機能のトレーニング」となっており、3割以上の施設で「歯ブラシによる清掃」以外の口腔ケアが実施されていました。

一方で、施設の体制等を理由に実施されていない施設が、約3%存在しました。

表6 口腔ケアの実施状況

(N=90)

	施設数	割合
すべての入所者に対し実施	61	67.8%
一部の入所者（障がいの程度や口腔の状態に配慮が必要な方等）に対し実施	26	28.9%
実施していない	3	3.3%

表7 口腔ケアの実施頻度

(N=87)

	施設数	割合
毎日実施	85	97.7%
うち1日3回以上	56	64.4%
うち1日2回	21	24.1%
うち1日1回	8	9.2%
1週間に数回程度	1	1.1%
無回答	1	1.1%

表8 口腔ケアの実施内容（複数回答）

(N=87)

	施設数	割合
歯ブラシによる清掃	84	96.6%
歯間ブラシやデンタルフロスなど補助清掃用具を使った清掃	38	43.7%
フッ化物（フッ素）入り歯磨き剤の使用	31	35.6%
スポンジブラシ、保湿剤等を用いた粘膜・舌等のケア	42	48.3%
嚥下体操等による口の機能のトレーニング	27	31.0%
その他	7	8.0%

表9 口腔ケアを実施していない理由（複数回答）

(N=3)

	施設数	割合
施設側の体制（時間、人員、場所等）を確保できない	3	100%
実施するための知識・技術が不足している	2	66.7%
本人や家族から希望がない	0	0%

表10 今後取り組みたいと考えている口腔ケアの内容（現在実施しているものを除く）

	施設数	割合
歯ブラシによる清掃	5	83.3%
歯間ブラシやデンタルフロスなど補助清掃用具を使った清掃	20	38.5%
フッ化物（フッ素）入り歯磨き剤の使用	20	33.9%
スポンジブラシ、保湿剤等を用いた粘膜・舌等のケア	13	27.1%
嚥下体操等による口の機能のトレーニング	31	49.2%

(ウ) 歯科医師による歯科健診の実施状況

歯科医師による定期的な歯科健診を実施している施設は70.0%ありました（参考：平成28年度調査では63.9%）。一方で、歯科健診を実施していない施設もあり、その理由としては「定期的に歯科医師・歯科衛生士に診てもらっており、健診の必要がない」「学校で歯科検診を受けている」等の回答がありました。

表11 歯科医師による歯科健診の実施状況

(N=90)

	施設数	割合
定期的に実施	63	70.0%
うち年に3回以上	39	43.3%
うち年に2回	6	6.7%
うち年に1回	18	20.0%
不定期（数年に1回程度）	5	5.6%
実施していない	22	24.4%

表 1 2 歯科医師による歯科健診を実施していない理由

(N=22)

	施設数	割合
定期的に歯科医師・歯科衛生士に診てもらっており、健診の必要がない	15	68.2%
施設側の体制（時間、人員、場所等）を確保できない	1	4.5%
健診を依頼できる歯科医療機関がない	0	0%
本人や家族から希望がない	0	0%
その他（※）	6	27.3%

※学校で歯科検診を受けている、ご自身で歯科受診が可能、希望者は訪問歯科診療を受けている等

（エ）歯科保健に関する取り組みの実施状況

「施設の「協力歯科医療機関」を定めている」または「入所者に訪問歯科診療を受けさせている」と回答した施設が約 7 割を占めました。一方で、これらを実施していない施設のうち「今後取り組みたい」と回答した施設は 1 割以下でした。

また、6 割以上の施設で「職員が歯と口の健康に関する研修を受ける機会」が設けられておらず、さらにその内の約 7 割の施設では、今後、研修の機会を設けたいと考えていることがわかりました。

表 1 3 歯科保健に関する取り組みの実施状況（複数回答）

(N=90)

	施設数	割合
職員が歯と口の健康に関する研修を受ける機会を設けている	34	37.8%
施設内のカンファレンス等において、入所者の歯と口の健康についてとりあげている	28	31.1%
入所者一人ひとりの口腔ケアプランを策定している	11	12.2%
入所者にフッ化物（フッ素）塗布やフッ化物洗口の機会を設けている	23	25.6%
入所者に訪問歯科診療を受けさせている	66	73.3%
施設の「協力歯科医療機関」を定めている	64	71.1%

表 1 4 今後取り組みたいと考えている歯科保健の内容（現在実施しているものを除く）

	施設数	割合
職員が歯と口の健康に関する研修を受ける機会を設ける	38	67.9%
施設内のカンファレンス等において、入所者の歯と口の健康についてとりあげる	19	30.6%
入所者一人ひとりの口腔ケアプランを策定する	17	21.5%
入所者にフッ化物（フッ素）塗布やフッ化物洗口の機会を設ける	13	19.4%
入所者に訪問歯科診療を受けさせる	0	0%
施設の「協力歯科医療機関」を定める	2	7.7%

(オ) 入所者のニーズ

入所者の歯科保健に関するニーズについて約 8 割の施設が「十分満たしている」「ある程度満たしている」と回答しました。一方で、施設の実情が「やや不足している」と回答した施設が 16.7%あり、口腔ケアの難しさや歯科医療との連携に関する意見が寄せられました。

表 15 歯科保健に関する取り組みに係る入所者の満足度

(N=90)

	施設数	割合
十分満たしている	9	10.0%
ある程度満たしている	65	72.2%
やや不足している(※)	15	16.7%
まったく不足している	0	0%
歯科保健に関するニーズはない	0	0%
無回答	1	1.1%

※口腔ケアに十分な時間や空間を確保できない、職員の技術が不足している、入所者の高齢化への対応が難しい、訪問歯科診療は受けていない人がある(希望者のみ対応している)、全身麻酔下での歯科治療が必要な利用者がおられ大学病院との連携が必要 等